

## 第3学年道徳科（人権）学習指導案

1 主題 互いの違いやよさを認め合って

2 主題設定の理由【省略】

3 ねらい

決めつけや偏見をもつことは人を傷付けることを理解し、自分とは異なる見方や考え  
方に対しても認め合い、互いの気持ちを考えて、友達を大切にしようとする態度を育て  
る。

4 指導計画

〈これまでの学習〉			
○道徳科	「ふたりのサンドウィッチ」 (絵本レーニア・アル・アブドラー作)	1時間	(エ)
○道徳科	「ごぼうさんのいろは...」 (絵本ジョエル・アグゾバ作)	1時間	(ア)
○学級活動	「いじわる」(ひかり)	1時間	(エ)
○道徳科	「マサラップ」(光村凶書)	1時間	(イ)
〈本時の学習〉			
○道徳科	「さやかちゃん」 (絵本くすのき しげのり作)	1時間	(本時) (エ)
〈これからの学習〉			
○総合的な学習の時間	「学のすてき」	2時間	(ウ)

\* なかまの像への思い (ア) 友情 (イ) 前進 (ウ) 希望 (エ) やさしさ

5 本時の学習

(1) 目標

言葉や話し方に対してのからかいは人を傷付けることを理解し、違いを認め合い、  
友達の気持ちを考えながら相手に寄り添って行動しようとする意欲を高める。

ねらいとする道徳的価値	B- (10) 相互理解, 寛容
なかまの像への思い	(エ) やさしさ

(2) 普遍的な学習のテーマ なかまづくり

(3) 展開

学習活動	指導上の留意点
1 本時の学習課題を知る。	○ 本時の学習の方向付けをする。
さやかの目からなみだがこぼれたのを見て、ぼくはどう思ったのでしょうか。	
2 「さやか」と「ぼく」の気持ちについて考える。 ・「ぼく」をじっと見つめて、「さやか」が涙をこぼしたとき ・二度あやまったが「ぼく」の頭から「さやか」の泣き顔がはなれなかったとき	○ 言葉や話し方に対するからかいは相手を傷付けることを理解させる。 ① ○ 「ぼく」が「たけし」の言葉を否定しなかったことも「さやか」を傷付けたことに気付かせる。
3 「たけし」に同意を求められたとき、「ぼく」は、どうしたらよかったのかを考える。	○ 役割演技を通して、どのように行動すべきであったのかを考えさせる。 ②
4 学習を振り返り、本時のまとめをする。	○ 自分たちの生活を振り返り、友達の気持ちを考え、相手に寄り添って行動しようとする意欲を高める。 ②

(4) 評価

- ・言葉や話し方に対してのからかいは人を傷付けることを理解することができたか。  
(知識的側面) ①
- ・違いを認め合い、友達の気持ちを考えながら相手に寄り添って行動しようとする意欲を高めることができたか。  
(価値的・態度的側面) ②